



燦々と燃ゆる陽



本別高校HP QRコード

令和4年度 総合的な探究の時間 「とかち創生学」 成果発表会（2年生）の開催

11月15日（水）5・6時間目（13：15～15：05）本校体育館で、2年生探究活動の成果発表会が開催されます。

- 1年次後半から1年間かけて行ってきた探究活動です。各班の発表概要を紹介（一部変更あり）します。
- 既に、関係機関にはご案内しております。その他、参観を希望される場合は、本校教頭までご連絡ください。
- 発熱・体調不良の場合は、来校をお断りいたします。マスクの着用をお願いします。

1班 … 人口減少が止まらない（メンバー 佐藤・八太・平尾・矢吹さん）

《① 課題設定》若い人が町外へ出て行ってしまっており、年々、町の活気がなくなって人口減少が止まらなくなっている。このことをくい止めるために移住体験ツアーを実施したことを報告する。

《② 現状分析》年々、本別町の人口が減少しており、昼間人口と夜間人口を比較してみると約140名昼間人口が多く、他の町から通勤・通学している人も意外と多くいることがわかった。

《③ 仮説設定》「本別町から他の町に出勤してもらうことで、本別の仕事の少ない課題を解決できる」との仮説を設定し、本別から出勤してもらうには、本別に住んでもらうための利点を町外の人に感じてもらうことが必要と考えた。

《④ 解決策》解決策として、本別町から他の町に出勤してもらうために、移住体験ツアーを実施することが有効であると考えた。仕事を町内だけに絞らず、町外にまで範囲を広げることで職場の種類が増えるため、本別町に住んでいても職場に困ることは少なくなると考えます。このような活動がより、本別町に住む人が増え、町がさらに賑わっていくと思います。

2班 … 本別産エシカル商品開発 ～ 豆の魅力を再発見する（メンバー 井出・山根楓・山本さん）

《① 課題設定》本別町の魅力の一つである豆の強みを活かしていきたいため、食以外の豆のエシカル商品の製造や販売など行うことにより、豆の魅力を発信する活動について報告する。

《② 現状分析》本別町産の豆商品は、レトルト・カレーのカレーでナイト、キレイ豆商品など「食」という観点からの豆商品がたくさん商品化や販売がされている。

《③ 仮説設定》豆の「食」以外の魅力的な商品を開発することで、本別町の「豆の強み」を活かせるのではないかと考えた。

《④ 解決策》解決策として、豆の強みを活かすため、本別町産の豆を使い、豆乳石鹸を開発することが有効であると考えた。

3班 … 本別高校の生徒数を多くする（メンバー 木南・橋本・守田・山川さん）

《① 課題設定》本別高校の生徒数が年々減少していることと、本別高校の生徒数を増やすことで、本別町も活性化するのではないかと考え活動を行ったので報告する。

《② 現状分析》生徒数の推移を調べたところ過去10年間だけでも半分以下になっていた。生徒数が増えれば町も活性化すると、の裏付けとして、島根県隠岐島前高校や島根県津和野高校など実際に高校が活性化することで町も活性化した例が挙げられる。

《③ 仮説設定》本別高校の生徒数減少について、私たちは魅力の宣伝不足だと考え、近隣の中学生に本別高校のホームページを見たことがあるかとのアンケートを取ったところ、88%が見ていないとのことだったので、仮説を本別高校の宣伝不足であると設定した。

《④ 解決策》本別高校のホームページを作り直し、宣伝していくこととSNSを活用して、PR動画を作製することとした。

【キーワード】 探究活動とは、課題設定後に現状について調べるなどして、「〇〇なら●●である」との仮説を設定し、課題解決策を見つけていく活動

4班 … 本別町を知るきっかけをつくる（メンバー 井原・岩本・坂井・伏見さん）

《① 課題設定》本別町に来る観光客が減っている傾向にあるため、その原因をと解決策を考えたので報告する。

《② 現状分析》夏と冬の観光客数を調べた結果、冬の観光客数が大幅に減少しているということがわかった。

《③ 仮説設定》観光客数が少ない冬に夏と同じようなイベントを行えば、冬の観光客数が増えるのではないかと仮説を設定した。もともとある冬のイベントをもっと盛り上げる必要があると考えた。

《④ 解決策》解決策として、仮説にもあったようにイベントをもっと盛り上げるために、夏のお祭りに協力してくれた企業に声掛けし、夏と同じ規模の祭りを開催すれば、冬の観光客が増加し本別町を知る人が増えると考えた。

5班 … 本別町の人口減少（メンバー 伊藤・瀧澤・本寺さん）

《① 課題設定》本別町の人口減少が地域の課題として考えたので報告する。

《② 現状分析》本別町の人口の減少を分析した結果、町を出ていく人と町に来る人の差や、町の知名度が低いことが分かった。

《③ 仮説設定》本別町の求人を宣伝すると、人口減少は解決するのではないかと仮説を設定し、HOTほんべつの求人サイトの閲覧数を増やそうとする考えに至った。

《④ 解決策》解決策として、HOTほんべつの閲覧数を増やすため、本別高校80周年記念の合唱をYouTubeに載せようと考えている。さらに、今後、定期的に行事の様子を更新していくことで、HOTほんべつの閲覧数を維持したいと考えている。

6班 … 豆の町本別を有名にする（メンバー 岩崎・岡本・松嶋・三浦さん）

《① 課題設定》最近の若者は、豆が嫌いな人が多く、豆の町といわれても豆に興味を持つ人が少ないため、少しでも若者に興味を持ってもらえるような豆のスイーツをつくったので報告する。

《② 現状分析》商品化するにあたって、アンケートを取った結果、和菓子より洋菓子の方が人気があり、スイーツをあまり食べていない人も多かったので、ドーナッツにしたり、スイーツをあまり食べていない人でも食べられるように甘さを控えめな豆乳クリームを使ったり工夫をした。

《③ 仮説設定》本別町の特産品、キレイ豆を使った映えるようなスイーツを作れば、若者の興味を引くのではないかと仮説を設定し、若者の興味を引くためには、映えとカロリーとおいしさを意識してスイーツの発案をする必要があると考えました。

《④ 解決策》解決策として、本別町の町豆を使ったタルトを作ろうと考えたが、現実的にタルトを作ることに難しいと分かったのでドーナッツを作り、生地に豆腐を入れた物を作ったり、豆乳を使ったクリームやあんこを入れたドーナッツを実際につけてみました。商品化実現に向けて、町民にも町外の人にも興味を持って食べてもらえるようなスイーツを作りました。

7班 … 本別町のお店への観光客を増やす（メンバー 伊藤・寺内・山根桃・吉村さん）

《① 課題設定》観光客が道の駅に偏っていると感じたことから、本別町の観光客が増えないことを課題としたので報告する。

《② 現状分析》ロジックツリーをもとに、観光客が少ない理由として、「知られていない」、「話題性がない」ということを考え、PRする必要性があるという結論に至った。

《③ 仮説設定》観光客の訪れやすい道の駅でパンフレットを配布することで、町内の飲食店を宣伝することができると仮説を設定した。町内のお店へ観光客を増やすために環境客が訪れやすい場所での継続的な宣伝が必要であると考えた。

《④ 解決策》解決策として、道外、十勝管外からの多くの観光客が集まる道の駅を拠点とし、本別町の飲食店をPRするパンフレットを配布することを考えました。よくある冊子型ではなく、名刺サイズにして手に取りやすいものにするなど考えています。

【本別高校最新情報】 近日中に、本別高校CS推進員(地域おこし協力隊)が本別町から派遣(予定) … CS活動など町と学校との連携が強化!